



賃貸管理会社様との取組事例紹介～ハッピーハウス株式会社様（福岡県）

私たちセキュラでは、戸建て、分譲マンションへのご提案と合わせて、賃貸物件へのマイロック導入も推進しており、これまでも多くの賃貸管理会社様とお付き合いをさせていただいております。今回はその中で福岡県を中心に多くの賃貸仲介・管理を展開されているハッピーハウス株式会社様との取り組みをご紹介します。

【ハッピーハウス株式会社様 企業情報】

- ・1983年 上村建設株式会社の不動産管理課として発足
- ・1996年 ハッピーハウス株式会社として分離独立
- ・店舗数 12店舗 ・管理戸数28000戸強

福岡市及び近郊、北九州市で店舗展開をされており、管理戸数も30,000戸に迫る勢いです。関連会社の上村建設株式会社様が建設した物件を中心に受注管理をされており、その高い入居率も注目されています。

《最近のマイロック設置事例》

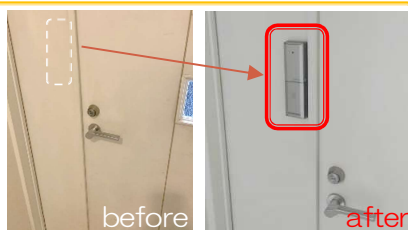
①ファミリー向け集合物件



VF-10を設置致しました。既存物件への設置の場合は、入居者様への事前の告知と日程調整がとても重要です。当日、入居者様へ不便、ご迷惑をお掛けしないよう十分な説明と確認を心掛けています。また、実際の施工時は現在のコロナ禍の下で、衛生面には特に注意を払って実施しています。

②上村建設(株)リニューアル事業部様

関連会社の上村建設「リニューアル事業部」の事務所に設置させていただきました。本事業部では戸建、マンションのリフォーム改修を中心に事業を行われており、その中でマイロックの提案も推進していただいております。そして商品を知っていただくには「百聞は一見にしかず」の言葉の通り、実際にマイロックを目で見て触って日頃から操作していただくことがやはり一番であると考えます。



取組事例



<①定期的な店舗訪問、同行営業>

コロナ禍の影響で自粛していた時期もありますが、やはり直接顔を合わせてコミュニケーションをとることが最も大切です。私たちにとっても、社員様のセキュラの商品に対するちょっとした質問や疑問を解消させていただける機会となり、一方で、社員の皆様の実務を覗き見て学ばせていただく良い機会となっています。オーナー様へのご提案の際は、必要に応じて、同行営業をさせていただいております。

<②勉強会の実施>

セキュラの製品について、より深く知っていただくために、お時間をいただき店舗単位での勉強会を実施しています。製品に対する知識や理解は、その製品が設置されている物件の担当者とならず社員様とどうしても差が出てしまいますし、新入社員の方もいっしょにやります。

私たちにとっても、製品だけでなく社員の皆様を知り、また私たちを知っていただく貴重な機会となっていますので、今後も継続していきたいと考えています。



業院店で開催した勉強会後の記念写真。全員、素敵な表情をしています！

<③広告チラシ・機関紙への掲載>

社員の皆様がおオーナー様を訪問する際にお渡しいただく専用のチラシを作成しました。また、ハッピーハウス様の定期機関紙である「ハッピーかわら版」にも同様に掲載いただきました。これら広報活動を通して、少しでもオーナー様へセキュラの商品を知っていただく機会となればと考えています。



オーナー様へのご提案用のチラシパンフ

ハッピーハウス様の機関紙「ハッピーかわら版」



マイロックの活用～店舗への設置（東京都）

～auショップ4店舗にマイロックを設置～

今回、都内のauショップの従業員様専用の通用口にマイロックVE-10を設置致しました。設置の理由をお伺いしてみたところ、「これまでカギの締め忘れに不安があり、その不安を解消したかった」とのこと。そこでセキュラのマイロックを選択して下さいました。セキュラのマイロックは①オートロックなので誰が最後に退社してもカギの締め忘れが無いだけでなく②特定の責任者のみがカギを保管・管理する必要がなくなる③暗証番号を知る特定の者であれば誰でも入退室が可能になる等の利点があります。『カギの保管者が来ないので会社に入れない』『残って仕事をしている社員がいるので保管者が帰れない』、そういったお悩みはありませんか？最近では法人・会社関係からのお問合せや設置依頼も増えており、店舗、事務所等へのマイロックの広がりを実感しています。



セキュラのマイロックは様々なドアに設置可能。店舗・事務所のカギの運営、管理のお悩みを解消します。

福岡営業所開設に伴う御礼

先月号にてご紹介させていただきました「セキュラ福岡営業所」が4月9日に無事に開設致しました。今後はより一層、皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。なお、開設に当たって多くのお取引業者様より御祝をいただきました。

まずは略儀ながら書中にて御礼申し上げます。



左写真：大阪ガスファイナンスの角谷様との記念撮影。営業所まで足を運んで下さいました。

「代表取締役のフリーキャンパス」Vol.6

セキュラ（株）代表取締役の藤井英定です。
どうぞよろしくお願い致します。



<平成の三四郎 古賀稔彦>

2021年3月24日、「平成の三四郎」と呼ばれた柔道家の古賀稔彦氏がら3歳という若さで癌のため亡くなりました。

氏はバルセロナ五輪での金メダル、全日本選手権（体重無差別）で決勝進出など実績だけでなく記憶にも残る功績がいくつもあります。

バルセロナ五輪の時は、試合直前に左膝に大けがを負いながらも金メダル！※一般人であれば歩くこともできないくらいの大けがです。

1990年の全日本選手権では、決勝で重量級の小川直也選手に惜しくも敗れましたが準優勝！

※中量級の選手が決勝進出するのは前代未聞ですすごいことです。

また、現役引退後は指導者として柔道界の発展に貢献され、2003年から子どもの人間育成を目的とした「古賀塾」を開塾。

今回は「古賀塾の五訓」を紹介します。

- 一、「はい」と言う素直な心
- 一、「ありがとうございます」と言う感謝の心
- 一、「私がします」と言う奉仕の心
- 一、「すみません」と言う反省の心
- 一、「おかげさま」と言う謙虚な心

氏は「夢を叶える方法」として、日常生活の中で「当たり前な事を当たり前のように出来る事」と語っています。

この五訓を稽古前に必ず全員（指導者も）大きな声で唱和していたそうです。

大きな声で唱和していれば、いつかその言葉は体の一部になり自分たちの生活の中においても「精力善用」「自他共栄」に繋がると思います…。

頭では分かっている、それを行動できているか。

子供たちは唱和しても、大人は「分かっている」から唱和しなくても大丈夫なのか。

この五訓に限らず、様々な「基本」を理解し真摯に継続して行動できているか。

私たちの人生やビジネスにおいても「当たり前な事を当たり前のように出来る事」が夢を実現するための基本なのかもしれません。

日常の中で、素直・感謝・奉仕・反省・謙虚な心を忘れず行動できているか…。

自問自答すると…「すみません」と言う反省の心はすぐに見つかりました。

まだまだ未熟者の私ですが、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。